

国立天文台・天文情報センター・アーカイブ室 中桐正夫

***すばる命名記念テレホンカード収蔵**

アーカイブ室新聞第605号(2012年6月21日)に「1985年国際天文連合総会(インド・ニューデリー) 記念切手収蔵」という記事を書いた。これは平成24年3月に天文台を去った山下芳子女史から譲られたものであった。今回の「すばる命名記念テレホンカード」(写真1)も同女史から譲られたものである。

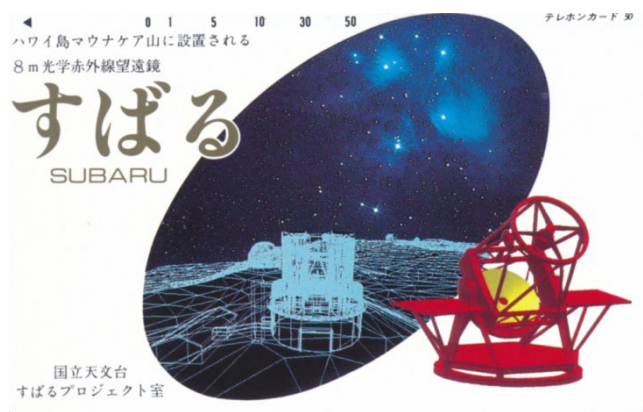


写真1 すばるのテレホンカード

このテレホンカードは1991年11月13日に納入されたものである。ハワイに建設した大型光学赤外線望遠鏡の愛称が公募され、名称選考委員会が組織され、「すばる」という名称が決定したのは、1991年8月19日であった。写真2は、当時発行されていた「大型望遠鏡室新聞」No.22号(1991年8月21日)のスケジュール欄である。

18(日)	8月18,19日:「準備室合宿」、天文台を8時出発	国立大学等職員懇親野球大会(沖田)(於:東京学芸大学)
19(月)	午前中:「準備室合宿」、	楠田枝里子来台
20(火)	15:00:名称審査委員会、 名称決定「すばる」 11:00:日本真空技術(株)技術企画委員会へ(小平、家、中桐) 10:30:航空宇宙技術研究所:流体実験打合(安藤、野口、宮下、沖田) 大成CG打合:海部、唐牛、流体研:海部、唐牛、安藤、宮下、沖田、三神 臨時準備室会議、光・赤外線・サーミ・ミ・リング、池松イサト上り:午前打合	8月21,22,23日「光・赤外線・サーミ・ミ・リング」(国立天文台(三鷹))
21(水)	光・赤外線・サーミ・ミ・リング:国立天文台(懇親会)	
22(木)	光・赤外線・サーミ・ミ・リング:国立天文台、パンフレット文字最終校正	
23(金)	9:30:大学院生向技術提案書勉強会(小平)	
24(土)		
25(日)		
26(月)	定例準備室連絡会、パンフレット:イサト完成、13:00:施設まとめ会議	関 耕司(千葉工大学生)来台
27(火)		am:装置開発小委員会
28(水)	第298回WG(夏休みあけ)	
29(木)	パンフレット色最終校正、14:00:CG打合	
30(金)	13:00:施設検討会	
31(土)		
9月		
1(日)		
2(月)	定例準備室連絡会、	定例系連絡会、10:00-12:00:系運営会議
3(火)		9月4,5日:「天文学に関する技術ショールーム」(木曾勤労者福祉センター)
4(水)	第299回WG、9:00:特別見学	
5(木)		

写真2 「大型望遠鏡室新聞 No.22 のスケジュール欄

筆者は当時、大型光学赤外線望遠鏡の準備室の総務担当をやっていたので、この辺りの事情には詳しい。この「大型望遠鏡室新聞」の発行編集責任者であった。愛称が公募され集まった名称の1位は「Big Eye」であり、順位について下記の記事がある。

「名称決定「すばる (SUBARU)」：8月19日13時～17時に選考委員会が開かれ大型光学赤外線望遠鏡の名称として「すばる (SUBARU)」が決定した。締め切りまでの応募総数は3,349通、すばるに関係した応募は47通であり、第3位であった。ちなみに1) Big Eye (98)、2) ぎんが (62)、3) すばる (47)、4) むげん (46)、5) さくら (43)、6) コスモス (37)、7) はるか (35)、8) みらい (28)、9) おおざら (20)、9) ふじ (20)、10) ビッグバン (18)、10) かぐやひめ (18) [この票数は中桐が再度チェックしたもの]。選考委員会の議論の様子は上記にあります。楠田枝里子さんは最後まで「みらい」にこだわったそうです。そして「すばる」には富士重工の自動車の名前にすでに使われていることにこだわりが最後まで残ったとか！とにかく大型光学赤外線望遠鏡の名前は「すばる」に決まりました。」

そして、大型望遠鏡室新聞の名称選考委員会報告には「8/19：名称選考委員会報告（海部）：選考委員（清水、楠田、芝井、市川、古在、海部、池内、神田、林）全員出席の元に出考が進められ、まず外部委員にこれぞというものを選んでもらったところ、準備室合宿で選ばれたものとまったく重ならなかった。内部委員の意見も入れて残った最終に近い名称は「はるか、ひかり、おおざら、みらい、てんきゅう、のぞみ、すばる、あすか、あけぼの」であった。さらにすすめて「はるか、みらい、すばる、あすか」→「みらい」「すばる」の決戦となり「すばる」に決定した。選考基準は親しみやすい、大きさを感じさせる、響きがよい、天文に関係があるなどであった。賞品にテレホンカードを考えている。」という記事が載っている。今回収蔵のテレホンカードは、この大型光学赤外線望遠鏡の愛称「すばる」に応募された方々への賞品として製作されたものである。

テレホンカードは携帯電話が発達し、公衆電話がどんどん廃止されていく現在ではほとんど役目が無くなってしまった。これも時代の流れである。しかし、大型光学赤外線望遠鏡「すばる」は1999年のファーストライト以来、世界最高性能を保って大活躍である。その製作の一端を担った筆者としても嬉しい限りである。

これらアーカイブ室新聞の記事にお気づきのことがあれば、編集者中桐にご連絡いただければ幸いです。中桐のメールアドレスは、arcnaoj@pub.mtk.nao.ac.jp